

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

### 「3人の師匠」

右掲の上は、故船井幸雄先生(平成26年1月没)で下は故木原伸雄先生(平成30年2月没)です。メンターの世界では「3人の師匠」という言葉があるようで、一人は優れた指導者としての師匠、一人は少し上の先輩クラスの師匠、もう一人は同期レベルの師匠の3人との事です。船井先生は、船井流コンサルティングの師匠ですが、余りにも雲の上の存在でした。木原先生は船井総研の客員経営コンサルタント養成学校で同席し、その後もメールやFaxあるいはお会いする等の交流がありました。木原先生からは自社の社員向けに発信されていた「ディリーメッセージ」を毎週日曜日に1週間分をまとめて送って頂き、その感想を返信していました。当方からは、Fax通信やメルマガを送っておりました。木原先生は、私の一回り上の方で先行モデルとして、先生の姿や精神をウオッチングしていましたので現実的に尊敬する師匠でした。



「〇〇ロス」という言葉がありますが、船井先生が亡くなられた時は、実は、家内が亡くなった事が重なっていたので、妻の方が大きく空白感はなかったのですが、木原先生から毎週日曜日に来る「ディリーメッセージ」を拝読して感想を返すのが日曜の朝のルーチンの一つだったので、それが無くなりロス(空白感)として実感します。先生との思い出はいろいろありますが、2つあげると3年前に広島会社へ訪問して社員さんたちと交流した後、カラオケに行き先生との約束の俵星玄蕃を聞いて頂いた事と昨年「70台は得ること多し」と教えて頂き心の支えになっている事が挙げられます。言霊エネルギーと言いますが、先生から数多く頂いており、それで自分を変えた事が数多くあります。本当に、実践的なご指導を頂いた方でした。

### 「7人の友達」

少し上の先輩は、満68才ともなると流石にリタイアされており、現役の方は少なくなり、当方からのメルマガや年賀状での交流になるケースが多くなりました。毎週土曜日に「AMIニュース」というメールを発信していますし、ブログやFacebookなどの投稿にレスポンスを頂く事が多くなりました。適切な返事やアドバイスを頂いて、嬉しく元気が出る事が多いですが、病気になる方も多くなり寂しくなるばかりです。同期レベルの師匠も同じでリタイア組が多くなりました。これは、私が満68才という「寄る年波」なので争えない現実であります。

私の場合、現役でお客様と接している事や中小企業家同友会に所属して多くの異業種の方々と接しています。まあ、「交流」というレベルではなく知己という関係のレベルですが、何か困った時には相談できる関係です。これは、トヨタの「7人の友達」に相当すると思っています。例えば、リフォームをする際にも、安心して頼める方がいらっしゃいますし、ちょっとした「会合」をする場合でも頼める方がいらっしゃるのです。その他に保険も自動車もおられますので重宝しています。

「師匠」と「友達」という2つの関係ですが、微妙な違いと思います。「師匠」からは尊敬の念を持って学ぶ事が当然ですが、「友達」も親身になって交流して頂けるので「学ぶ」ところが多々あるのです。そういう意味では、ほぼ同じであり、甲乙をつけるものではないと思いますが、ややもすると「友達」は近い関係だけにマイナスの面を受ける可能性が高いです。趣味での交流でレベルを競うのは前向きで良いのですが、遊興や賭け事などの場合は金と時間を浪費するだけなので注意する必要があります。確かに、遊興でも憂さを吐き出して鬱憤晴らしでリフレッシュできるという効果もありますので一概に否定はできませんが、逆に、「溺れこむ」という事(酒や女性そしてバクチ)にもなりやすいので心得ておかねばなりません。

#### ワンポイント・アドバイス

「3人の師匠」は若い人たちがカタカナ語を連発するメンターなどの世界で使われるようです。昔は、先輩が後輩を責任を持って指導するB・B(Big Brother)制度があって、少し上の先輩に育成してもらえる機会が多かったのです。今は、ビジネス環境の変化でB・B制度が難しくなっています。自分の責任が大きくなっているので時間の余裕がないのが現実です。

